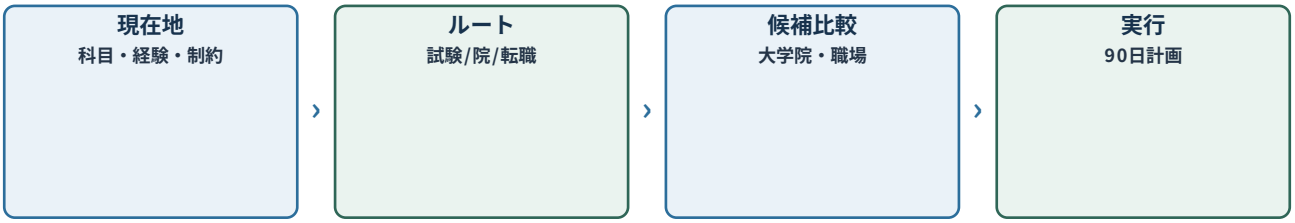
FINOWA 2027 / TAX & ACCOUNTING CAREER

30代から税理士・会計キャリアを目指す完全ロードマップ 2027

試験・大学院免除・転職・企業経理を「現在地」から組み合わせる

今回の更新ポイント

旧版の「読むだけの入口資料」から、現行FINOWAのWeb診断・大学院比較・2027募集DBへ接続する意思決定資料へ更新しました。



情報基準日：2026年10月7日 / 30代社会人向け / 一般情報

1. 3分でわかる結論

結論

30代では「5科目を全部試験で取り切る」ことだけを正解にしません。現在の合格科目・仕事・資金・学習時間を確認し、試験、大学院免除、会計事務所、企業経理を組み合わせます。

現在地	まず決めること	有力な次の一手
未受験 / 簿記2級前後	会計学習を続けられるか	簿財学習 + キャリア診断
会計1科目合格	残り会計を試験で取る期間	原則は税法免除を優先しつつ再評価
簿財合格	税法1科目と大学院の組合せ	税法1科目 + 税法研究ルート
税法1科目あり	研究指導・出願条件の確認	2027大学院比較 + 候補診断
受験長期化	時間・費用・仕事のボトルネック	科目 / 院 / 転職の再設計

現在のFINOWAでは、全体のキャリア診断と、税理士大学院候補診断を分けています。PDF内で無理に一意の「おすすめ」を出さず、Webで条件を変えて比較できる設計です。

2. 公式データで見る「30代から遅いか」

最新の確定試験結果は令和7年度（第75回）です。31-35歳の合格率は24.8%、36-40歳は21.4%。「30代だから受からない」ではなく、仕事や家庭を含む時間制約をどう設計するかが論点です。

年齢	受験者	合格者等	合格率
26-30歳	6,420	1,638	25.5%
31-35歳	5,100	1,266	24.8%
36-40歳	4,674	1,000	21.4%
41歳以上	11,632	1,339	11.5%

2026年の制度変更

令和8年度（第76回）から税理士試験のオンライン申込み等に対応する専用サイトが開設されました。試験制度そのものだけでなく、申込実務も毎年更新確認します。

出典：国税庁「令和7年度（第75回）税理士試験結果表（学歴別・年齢別）」・税理士試験ページ

3. 最初に確認する5項目

☐ 合格済み：簿記論 / 財務諸表論 / 税法科目

☐ 週に現実的に確保できる学習時間：____時間

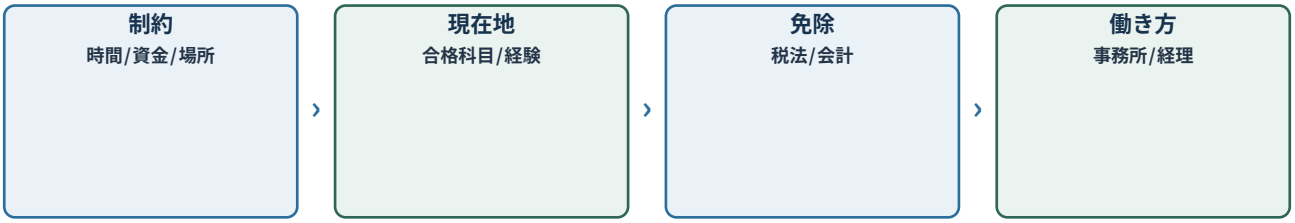
☐ 今の仕事を維持したい / 会計業界へ転職したい / 企業経理へ移りたい

☐ 大学院へ使える資金と通学可能時間

☐ 5年後にやりたい業務：法人顧問 / 相続 / M&A; / 経理DX / 独立 / 未定

判断の順序

資格ルートを先に決めて仕事を合わせるのではなく、「制約 → 現在地 → 免除分野 → 働き方 → 専門性」の順で絞ると、長期化や高額投資の失敗を減らせます。



4. 5つのルートを比較する

ルート	向く状況	強み	主な注意点
試験先行	学習時間を確保できる	直接費を抑えやすい	年数の不確実性
税法大学院免除	税法1科目 + 研究適性	試験科目を2科目圧縮	研究認定・指導確認が必要
会計大学院免除	会計1科目が長期停滞	会計残1科目を圧縮	税法3科目の設計が残る
転職先行	早く会計業界に入りたい	実務経験を早く積む	勉強時間を失う職場は逆効果
企業経理 / DX	安定収入・IT経験を活かす	会計経験と収入を両立	税理士登録への接続を別設計

30代の基本は「組合せ」です。例：簿財 → 税法1科目 → 大学院、または会計事務所で実務 → 税法1科目 → 大学院。企業経理を維持しながら夜間・土日・オンライン対応を探す方法もあります。

5. 大学院免除は「学校名」よりルート単位で見る

FINOWAの2027管理DBは17校34ルート。現在Web診断に使うのは29ルートで、5ルートは指導体制確認・受付終了・掲載保留などの理由で対象外です。

見る軸	確認する内容
免除分野	税法 / 会計学。自分の合格科目と接続するか
社会人適合	夜間・土日・長期履修・勤務との両立
オンライン	講義だけでなく研究指導の方式まで確認
指導体制	研究指導の受入・教員・論文テーマ
学費	正式年度、給付金、交通費を含める
募集時期	複数期があるため「次回受付」を確認

注意

「大学院に入れば自動免除」ではありません。所定の学位取得後、研究認定等の要件を満たす必要があります。

6. 現在地別：未受験〜会計1科目

現在地	90日でやること	判断期限
未受験 / 簿記2級前後	簿記・会計学習を小さく開始。会計キャリアの実務像も確認	3か月で継続可否
簿記論のみ	財表を続けつつ税法1科目候補と大学院を情報収集	次の試験申込前
財表のみ	簿記論の停滞原因を分解。1-2年で取り切れるか仮説を置く	次年度計画時
会計1科目 + 長期停滞	税法免除優先と会計免除を費用・年数で比較	大学院出願の6-9か月前

会計1科目合格者向けの別PDFは2026-10-07版へ更新済みです。学校ランキングではなく、免除分野と診断対象ルートから候補を絞る設計に変更しています。

7. 現在地別：簿財合格〜税法1科目

現在地	基本線	次に確認
簿財合格	税法1科目 + 税法研究の大学院を有力候補に	税法科目・大学院の募集期
税法1科目合格	大学院免除の実行可能性が高まる	研究指導・出願資格・費用
大学院検討中	候補を3-5校ではなく3-5「ルート」に絞る	ルートID・次回受付・注記
受験継続も迷う	試験のみ / 院 / 転職を5年総コストで比較	費用シミュレーション

FINOWAの使い分け

候補診断で上位候補を抽出 → 比較表で募集時期・学費確度・指導体制を確認 →
大学公式へ移動、の順にします。

8. 転職は「資格の後」だけではない

会計事務所・税理士法人へ早めに入ることには実務経験のメリットがあります。ただし、勉強時間を失う職場へ入ると資格取得を遅らせます。

確認軸	面接・求人で見ること
勤務時間	繁忙期・通常期・残業の実態
試験支援	試験休暇、受験者の在籍、科目合格者の扱い
大学院両立	夜間・土日通学への理解、シフト調整
担当業務	記帳だけか、申告・顧客対応へ広がるか
専門性	相続、M&A;、法人顧問、DX等の案件
報酬	初年度だけでなく3年後の役割と昇給

企業経理/DXルートは「税理士にならない道」ではなく、収入と会計経験を維持しながら試験・大学院を継続する選択肢として扱います。

9. 5年モデル - 3つの現実的な進み方

モデル	1年目	2-3年目	4-5年目
試験 + 院	簿財/税法の不足を取得	大学院・論文	認定申請・実務接続
転職 + 院	会計事務所へ移る	税法1科目 + 大学院	専門業務へ寄せる
企業経理 + 院	経理/DX経験を強化	夜間・土日大学院	税務・経営支援へ接続

モデルは「最短年数」を約束するものではありません。毎年1回、科目進捗・仕事・資金・生活制約を見直してルートを更新します。

10. 失敗を防ぐチェックリスト

☐ 試験合格率だけで科目を決めていない

☐ 大学院の免除分野・指導体制・次回受付を確認した

☐ 学費だけでなく給付金の支給時期と立替資金を確認した

☐ 転職後に週の学習時間が減りすぎない

☐ 「30代だから急ぐ」ことを理由に高額契約を先にしていない

☐ 5年後の仕事像を1つ以上言語化できる

見直しのサイン

同じ科目で長期停滞 / 学習時間が週5時間未満 / 大学院候補が条件不一致 /
転職で学習時間が消失、のいずれかが起きたらルートを再設計します。

11. 90日アクションプラン

期間	学習	大学院	キャリア
1-2週	合格科目・学習時間を棚卸し	免除分野を確認	現職の強み・制約を整理
3-4週	次の1科目を仮決定	候補診断で3-6ルート抽出	求人/職場条件を比較
2か月目	過去問・講座で実行性確認	説明会・個別相談	職務経歴書の素材化
3か月目	年間計画を固定	出願要件・費用を確定	応募/現職継続を判断

90日後の判定：☐ 継続 ☐ 科目変更 ☐ 大学院へ進む ☐ 転職を進める ☐ 現職維持 ☐ 3か月延長して再評価

12. Webで次の一手を確認



FINOWA キャリア診断

https://finowa.jp/tools/career-check/



税理士大学院候補診断2027

https://finowa.jp/tools/tax-grad-school-match/



税理士大学院比較2027

https://finowa.jp/career/tax-accounting/articles/graduate-school-comparison-2027/

入口：https://finowa.jp/career/tax-accounting/

本資料は一般的な意思決定支援資料です。試験制度、大学院の研究認定・募集・学費、雇用条件は必ず公式情報で確認してください。

主な一次情報：

https://www.nta.go.jp/taxes/zeirishi/zeirishishiken/zeirishi.htm

https://www.nta.go.jp/taxes/zeirishi/zeirishishiken/shikenkekka/75/pdf/0025011-071-15.pdf

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html